

春闘を職場から盛り上げよう！ 春闘標語10選を決定

2016春闘標語 10選

取り戻せ！ベアを笑顔を！いざ団結！！春闘は明日を照らす道しるべ！
(北海道地本) 工藤英之
みんなで闘い！みんなで勝ち取る！16春闘！(関東地本) 関俊一郎
なくせ貧困！許すな格差！勝ち取り大幅上げを！！
(関西地本) 森田祐稀
深めよう絆！勝ち取ろうペースアップ！(九州地本) 白川幸治
咲かせようベアの花！勝ち取ろう満額獲得！(東北地本) 佐藤久徳
高めよう組織の力！守ろう仲間職場！(東北地本) 橋本祐太
知恵出せ！声出せ！元氣出せ！皆で協力！一致団結2016春闘！
(東海地本) 古橋知明
格差をなくせ！みんなで勝ち取る16春闘！(関東地本) 山越一幸
雇用と生活を守る為、強い絆で一致団結！(北海道地本) 長谷川泰子
今こそ立ち上がろう！一致団結16春闘！(東海地本) 伊藤薫

第18回全国スノーフェスティバル開催！



2016年2月21日～23日 乗鞍高原

のために乗鞍の地まで足を運んでくれました。国会において貨物に対するモータリシフト実現に向けた助成を含んだ法律案づくりが進展していることが報告されました。

スキーを通して組合員とひびき交え、身並なたしのかかる」を感じるとても良い交流の場となりました。

大会開催にあたっては、地元の人々が「100年ぶり」というほどの暖冬による危機的降雪不足によって大会コースの設置が危ぶまれましたが、大会コースの変更、また変更という形をとるなら準備委員とスキー場スタッフが苦勞をしながら無事に開催する事ができました。

- 全力で楽しみました。今回は目玉としてショートスキーとヒギナーズノーボードクラスを混合した部門を作り、大いに盛り上がりを感じた大会となりました。多くの選手が表彰台に登ることができました。
- 次回2018年に関西・九州地本主催で開催される予定です。共通の趣味を持つ仲間と交流を深められるスノーフェスティバルに多くの組合員の参加をお待ちしています。
- 【大回転】
 - スノーボードヒギナー・ショートスキー他
 - 1位 園上 哲也 組合員友人
 - 2位 辻 祥公 稲沢機関区
 - 3位 今瀬 拓哉 稲沢駅
 - スノーボードエキスパート
 - 1位 伊藤 俊和 稲沢駅
 - 2位 渋谷 純一郎 富山機関区
 - 3位 五十嵐 紀龍 吹田機関区
 - スキーヒギナー
 - 1位 小林 洋平 新潟貨物支
 - スキーアドバンス
 - 1位 西崎 俊明 札幌機関区
 - 2位 田川 延之 岡山機関区
 - 3位 加持 豊 五條駅
 - スキーエキスパート
 - 1位 多胡 裕樹 高崎機関区
 - 2位 土師 朋喜 富山機関区
 - 3位 藤井 靖且 岡山機関区
 - 【デュアルスラローム受賞者】
 - スノーボードヒギナー・ショートスキー他
 - 1位 武藤 総裕 愛知機関区
 - 2位 新川真太郎 愛知機関区
 - 3位 川畑 旭 稲沢機関区
 - スノーボードエキスパート
 - 1位 多胡 裕樹 高崎機関区
 - 2位 楠田 良 吹田機関区
 - 3位 伊藤 俊和 稲沢駅
 - スキーヒギナー
 - 1位 小林 洋平 新潟貨物支
 - スキーアドバンス
 - 1位 加持 豊 OB
 - 2位 田川 延之 岡山機関区
 - 3位 西崎 俊明 札幌機関区
 - スキーエキスパート
 - 1位 前田 春生 OB
 - 2位 石田 聡 富山機関区
 - 3位 土師 朋喜 富山機関区

JR総連2016春闘セミナー

JR総連2016春闘セミナーが2月19日に都内で開催され、総勢100名が結集し、貨物労組と貨物労連から

15名が参加しました。連合の須田総合労働局長から「2016春闘生活闘争方針の特徴点について講演を受け、連合の春闘方針について分かりやすく提起されました。

決意表明では、貨物労連を代表して辻井事務局長(神奈川臨海鉄道労組委員長)から「貨物労連として連帯連携を強化し、各単組のヤマ場の交渉時期に激励行動を行い各単組の交渉を後押ししていく。JR総連春闘を貨物労連がけん



引していく」と力強い決意表明がありました。2016春闘を「JR総連春闘」として統一要求・統一闘争として全力で取り組んでいくことを会場全体で確認し、春闘セミナーを終了しました。

東日本大震災から5年



2011年3月11日14時46分、マグニチュード9.0の地震が東北地方を中心に東日本を襲いました。この地震により発生した津波により多くの命が失われ、死者・行方不明者は

中央本部は震災直後と同日14日に「東北地方太平洋沖地震対策本部」を設置しました。対策本部からの呼びかけもあり、震災直後の現地に

1万8000名を超え、JR貨物の関連会社社員の方も犠牲になりました。当時併せて福島原発事故が発生し、現在でも18人以上が住み慣れた土地を離れ、避難生活を送っています。



たしる議員と共に走行を実現した石油輸送列車

あつから、現地在を慮する全面的仲間から物心両面の支援が東北地方に届き、東北地方の仲間からも「ありがたい！元氣が出る」という声が上がりました。

たしる議員と「石油列車」震災直後、現地では物資不足であり、特にガソリンが不足していました。トラック輸送は道路寸断の影響でできないことから、JR貨物労使は現地の支援に奔走しました。東日本大震災による石油輸送列車を計画した。たしる議員は現地の仲間とたしるが、全国的に困難に直面しましたが、全国的に困難に直面しましたが、全国的に困難に

中央本部は震災直後と同日14日に「東北地方太平洋沖地震対策本部」を設置しました。対策本部からの呼びかけもあり、震災直後の現地に

たしる議員と「石油列車」震災直後、現地では物資不足であり、特にガソリンが不足していました。トラック輸送は道路寸断の影響でできないことから、JR貨物労使は現地の支援に奔走しました。東日本大震災による石油輸送列車を計画した。たしる議員は現地の仲間とたしるが、全国的に困難に

たしる議員と「石油列車」震災直後、現地では物資不足であり、特にガソリンが不足していました。トラック輸送は道路寸断の影響でできないことから、JR貨物労使は現地の支援に奔走しました。東日本大震災による石油輸送列車を計画した。たしる議員は現地の仲間とたしるが、全国的に困難に



津波により脱線した入換機関車